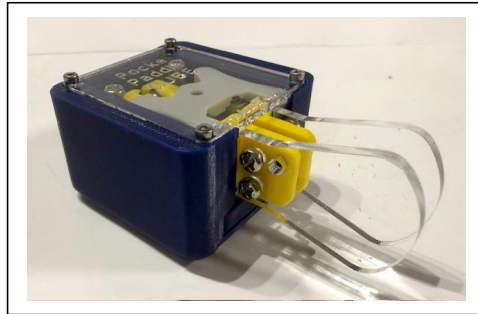


小型・軽量キューブ型パドル

Pocke Paddle CUBE



Ver1.0 2025/11/25 by *PockeTech*

【主な特徴・仕様】

- ・キューブ型コンパクトサイズ
- ・左右独立軸受け方式採用
- ・軸受けには左右それぞれベアリング 2 個使用の本格構造
- ・反発素材には強力磁石を使用（反発力調整機能付き）
- ・接点間隙間調整機能付き
- ・リグ等に固定できる強力マグネット装備（横滑り防止機能追加）
- ・パドル左右切替えスイッチ付き
- ・持ち運び保護用カバー付き
- ・サイズ：W 47 D 82.5 H 33 mm （パドル部含む, ケース含まず）

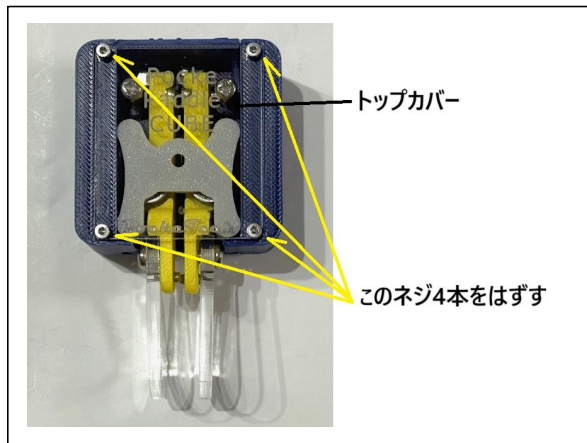
重量：59g

製作難易度ランク：★☆☆☆☆（組立済品）

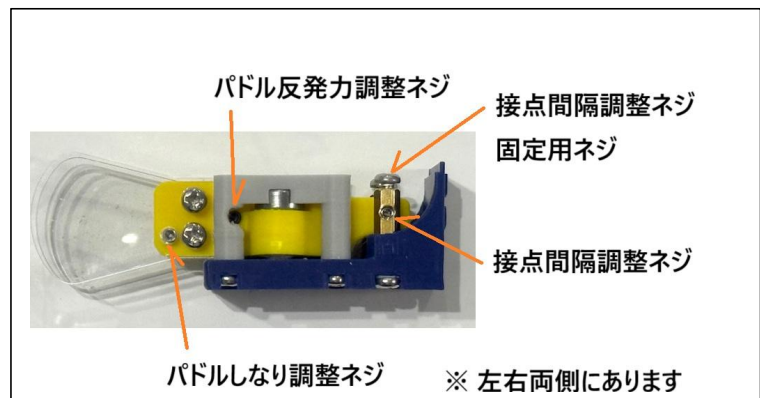
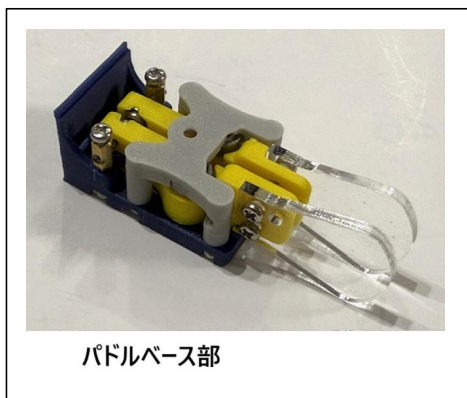
【調整方法】

調整には、六角レンチ、ねじ回し、ラジオペンチ等が必要となります。
調整は、必要に応じて、接点間隔調整、反発磁石間隔調整、パドルしなり調整の3か所があります。

※ 調整の場合は、まず、パドルベースをケースから取りずします。
下部写真のネジをはずし、パドルベースをケースから後ろ側へ押し出します。



■ 調整のためのパドルベース部と調整箇所位置



① 接点間隔調整ネジ調整ネジ

調整は、最初に接点間隔調整ネジ固定用ネジを少し緩めて、接点間隔調整ネジが回るようにしてから行います。

接点間隔調整ネジ（イモネジ）を回し、間隔を調整します。

左右それぞれ独立しているので、両側を調整します。

調整後は、再び接点間隔調整ネジ固定用ネジをイモネジが緩まない程度に締めます。（きつすぎないように）

② パドル反発力調整

反発用磁石の間隔を調整します。

ネジ（イモネジ）を締める方向で磁石間隔は狭くなり反発力は強く、パドルは重くなります。

緩める方向で、磁石間隔は広くなり反発力は軽く、パドルは軽くなります。

初期値が一番軽くなっています。

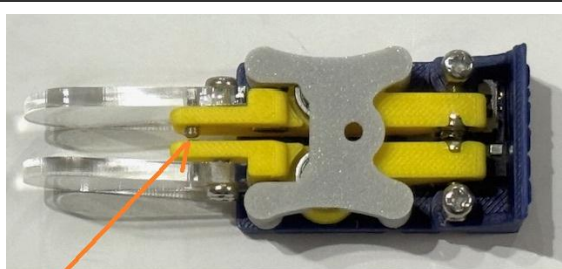
※ ネジを緩めすぎるとイモネジが外れます。

ネジを締め過ぎると、磁石が当たってパドル操作ができなくなります。

③ パドルしなり調整

これは、スクイーズ操作の時に、両側のパドルを同時につまんだ時にパドル部がしなるのを低減させる機能です。

スクイーズ操作をされない方には関係ありません。

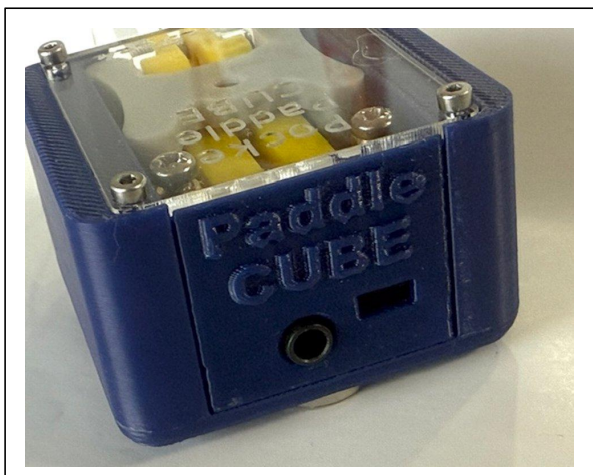


調整ネジ（上部から見た）両側あり

接点間隔調整後、スクイーズした時にこのネジを調整し、接点が接触したあたりで止まるように調整することでしなりを軽減することができます。カチッとした打鍵フィーリングにすることができます。

ネジを締め過ぎるとスクイーズができなくなりますので、打鍵強度との関係で適当な締め付けをしてください。

【パドル左右切替】



パドル後面の出力端子右側の四角穴奥にスイッチがあります。これにより、パドルの左右切替ができます。

【カバーの使い方】

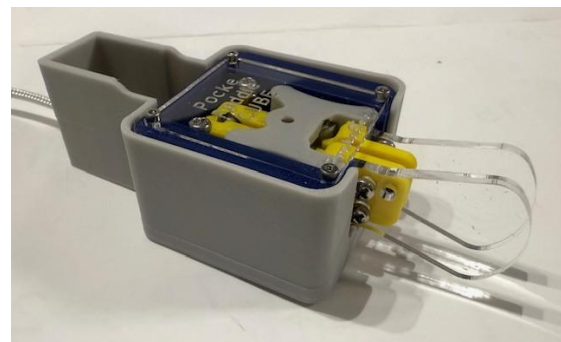
移動運用等での持ち運び時にパドルの損傷等を防止するための簡易カバーを付属しています。（あくまでも簡易カバーです）

カバーの紛失を防止するため、カバーを前後逆に取り付けることで、本体にカバーを取付けた状態でパドル操作が可能になります。

カバーは、本体を上から挿入することで装着します。



カバーを装着した状態



運用時の状態



運用時のケーブルの接続状態

【ポリシー】

1. このキット（キットを組み立てたものを含む）は、ものを作り上げることを安価で、気楽に楽しんでもらう事を目的として作られたものです。
2. このキットは、素人が設計したものであり、メーカー製のような、性能、機能、品質を保証するものではありません。
3. このキットを製作、また使用して発生したあらゆる影響を排除する保証はできません。
4. このキットを使用において、指定された電源以外の使用、改造使用、また、通常想定される一般的な使用以外での使用方法による故障、また接続された機器の故障等について一切の保証はできません。
5. このキットで設計された回路図、プログラム、その他資料などの許可のない複製、再頒布は禁止しています。また、商業的販売も禁止し、目的としておりません。

【頒布品 Q&A】

頒布品のに関する質問や、追加情報などは、下記メールアドレスで受付けます。

また、受け付けた質問や情報は、内容によっては情報共有のため下記サイトで公開させていただく場合があります。

[Mail;pocketech@pocke.tech](mailto:pocketech@pocke.tech)

URL : <http://pocke.tech/sell>

本 PDF、最新情報も、上記 URL にて公開しています。

※ 自作を楽しみ、自作機での運用を存分に満喫してください。

